



Tanium™ Deploy ユーザーガイド

バージョン 1.0.3

December 20, 2018

この文書の内容は予告なく変更されることがあります。また、本書に記載の内容は「現状のまま」提供されており、正確には万全を期しておりますが、Taniumの顧客販売契約に規定されている保証を除き、明示または暗黙を問わずいかなる保証もしません。別段の規定がない限り、Taniumはいかなる責任も負いません。Taniumおよびそのサプライヤは、Tanium Inc.がかかる損害の可能性を事前に通知されていたとしても、本書の使用または使用できないことから生じる、利益損失やデータ損失をはじめとする間接的損害や特別損害、結果的損害、および付随的損害に対して一切の責任を負いません。

本書で使用されているIPアドレスは、実際のアドレスであることを意図していません。本書に記載されている例、コマンド表示出力、ネットワークポロジ図、およびその他の図は、例示の目的にのみ使用されています。例示コンテンツに実際のIPアドレスが使用されていたとしても、特別な意図はなく、偶然です。

最新のTanium製品のマニュアルについては、<https://docs.tanium.com>をご覧ください。

Taniumは米国およびその他の国におけるTanium, Inc.の商標です。記載されているその他の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

© 2018 Tanium Inc. All rights reserved.

目次

Deployの概要	6
パッチ適用 パッケージ	6
バンドルのデプロイ	7
適用範囲 スキャン	7
パッチの適用	8
メンテナンス用時間枠	8
はじめに	9
要件	10
Taniumの依存関係	10
Tanium ServerとModule Server	10
エンドポイント	10
システム環境変数	11
ホストとネットワークセキュリティの要件	11
セキュリティの除外	11
ユーザーロールの要件	12
Tanium 7.0	12
Tanium 7.1以降	12
Deployのインストール	16
始める前に	16
Deployのインポート	16
サービスアカウントを設定する	17
Tanium End-User Notifications (エンドユーザー通知ソリューション)をインストールする ..	17
コンピュータグループを整理する	18

Deployのアクショングループにコンピュータグループを追加する	18
エンドポイントを初期化する	18
Deployをアップグレードする	19
次にやるべきこと	20
パッケージとバンドルの管理	21
始める前に	21
ソフトウェアパッケージを作成する	21
ソフトウェアパッケージをエクスポートする	22
ソフトウェアパッケージをインポートする	22
ソフトウェアパッケージカタログを配布する	22
ソフトウェアパッケージの適用範囲を表示する	23
ソフトウェアバンドルを作成する	24
ソフトウェアパッケージまたはバンドルを編集する	24
ソフトウェアパッケージまたはバンドルを削除する	24
パッケージとバンドルのデプロイ	25
概要	25
始める前に	25
ソフトウェアパッケージのデプロイを作成する	25
エンドポイントの再起動	27
ソフトウェアバンドル用のパッチ適用を作成する	29
パッチの適用を再発行する	31
パッチの適用を停止する	32
パッチ適用テンプレートを作成する	32
メンテナンス用時間枠の管理	33
メンテナンス時間枠のオプション	33

メンテナンス時間枠を作成する	34
メンテナンス用時間枠を上書きする	34
メンテナンス用時間枠を削除する	34
Deployのトラブルシューティング	36
トラブルシューティングパッケージを収集する	36
エンドユーザー通知が表示されません	36
ソフトウェアパッケージに対する適用範囲情報がありません	36
Deployのアンインストール	37

Deployの概要

Deployは、最小限のインフラストラクチャ要件で大規模な組織全体でソフトウェアを迅速にインストール、更新、および削除するために使用できる、ソフトウェア管理モジュールです。IT運用に便利なメンテナンス用時間枠で、実行するパッチの適用を作成できます。

Deployを使用すると、次のタスクを実行できます。

- アプリケーションまたはアプリケーショングループを、コンピュータグループ、ユーザーグループ、部門、場所、個々のコンピュータ、および個々のユーザーなどを対象に、フレキシブルにパッチ適用します。
- 既存のソフトウェアのインストールを最新の使用可能なバージョンに更新します。
- アプリケーションをインストール、更新、および削除するカスタムパッケージを作成します。

パッチ適用 パッケージ

Tanium Deployソフトウェアパッケージは、Taniumが管理するデバイスのソフトウェアの検出、インストール、更新、および削除に使用する、ソースファイル、メタデータ、検出ロジック、およびアクションの組み合わせです。

各ソフトウェアパッケージには、次の要素が含まれています。

パッケージファイル(インストール/ソースファイル)

管理対象デバイスにアプリケーションをサイレントインストールするために必要なファイル。たとえば、msi/ exeインストーラ、リソースファイル/フォルダ、構成ファイル、カスタムスクリプト、カスタムレジストリファイル、ライセンスキーなどです。

一般情報

ソフトウェアパッケージのベンダー、名前、およびバージョン。この情報は利用可能な場合にソースファイルから自動的に取得します。

システム要件

このソフトウェアパッケージがエンドポイントで実行されるための最低要件: 最小オペレーティングシステムとバージョン、最小ディスクスペース、およびシステムの最小RAM。

必要なソフトウェア(前提条件)

前提条件ソフトウェアパッケージに関連付けられている検出ルールの一覧。各前提条件ソフトウェアパッケージには、1つまたは複数のルールが関連付けられています。

更新検出

このソフトウェアパッケージの以前のバージョンに関連付けられている検出ルールの一覧。この一覧は、このパッケージによって更新可能な以前のソフトウェアインストールを判別します。

操作タイプ

各ソフトウェアパッケージには多数のサポートされている操作があります。各パッケージには、インストールおよびアンインストールの操作タイプがあり、名前の付けられたカスタム操作をソフトウェアパッケージに追加できます。

インストール検証

パッケージのインストールが完了したかどうかを判断するための検出ルールの一覧。

バンドルのデプロイ

Tanium Deployソフトウェアバンドルは、順序付けられたシーケンスでデプロイおよび実行できるDeployソフトウェアパッケージの一覧です。ソフトウェアバンドルは、特定の部門またはユーザータイプが使用するパッケージの一覧のデプロイに使用されます。

詳細については、「[21ページのパッケージとバンドルの管理](#)」を参照してください。

適用範囲スキャン

Deployソフトウェアパッケージカタログにあるソフトウェアパッケージの適用範囲スキャンの実行頻度と、適用範囲ステータスのキャッシュが更新される頻度を設定できます。

適用範囲スキャンは、必要なオペレーティングシステム、最小ディスク容量、メモリ、および必須ソフトウェアからエンドポイントを評価します。各ソフトウェアパッケージは、定期的に評価され、Tanium管理対象デバイスがインストール可能か、アップデート対象か、インストール済みか、または要件が満たされているかどうかを判断します。

インストール可能

ソフトウェアがインストールされておらず、システム要件が満たされているシステムの数。

アップデート可能

以前のバージョンのアプリケーションが1つまたは複数検出され、ソフトウェアパッケージの更新が行えるシステムの数。

インストール済み

ソフトウェアパッケージがすでにインストールされているシステムの数。

更新不能

以前のバージョンのアプリケーションの1つ以上が検出されたが、システム要件が満たされていないシステムの数。

適用外

システム要件または前提条件が満たされていないシステムの数。

パッチの適用

デプロイは、対象となるエンドポイントでアプリケーションをインストール、更新、または削除するための1回限り、または繰り返されるアクションです。詳細については、「[25ページのパッケージとバンドルのデプロイ](#)」を参照してください。

メンテナンス用時間枠

メンテナンス用時間枠では、対象コンピュータがパッチ適用の実行を許可する時間を指定します。複数のメンテナンス用時間枠を構成できます。重複する時間帯でも可能です。メンテナンス用時間枠は相互に干渉しません。パッチ適用を有効にするには、パッチ適用とメンテナンス用時間枠の時間が適合する必要があります。詳細については、「[33ページのメンテナンス用時間枠の管理](#)」を参照してください。

この文書には、第三者が提供するコンテンツや製品(ハードウェアおよびソフトウェアを含む)、サービス(「第三者のアイテム」)に対するアクセス手段や、第三者のそうした情報そのものが含まれていることがあります。Tanium Inc.およびその関連会社は、(i)それらの第三者のアイテムに対して責任を負うものではなく、第三者のアイテムに関するすべての保証および責任を明示的に放棄し、(ii)お客様とTaniumとの間の有効な契約に明記されていない限り、かかる第三者のアイテムへのアクセスや、利用に起因する損失、費用または損害について責任を負いません。

また、この文書は、特定の第三者のアイテムの使用やTanium製品との組み合わせを求めるものでも、想定するものでもありません。そのような組み合わせによって生じた知的財産権の侵害について、Taniumおよびその関連会社は一切責任を負いません。第三者のアイテムとTanium製品の組み合わせが適切であるかどうか、また第三者の知的財産権を侵害しないかどうかの判定の責任はTaniumではなくお客様にあります。

はじめに

1. Deployをインストールします。詳細については、「[16ページのDeployのインストール](#)」を参照してください。
2. ソフトウェアパッケージを作成します。詳細については、「[21ページのパッケージとバンドルの管理](#)」を参照してください。
3. パッチ適用を作成します。詳細については、「[25ページのパッケージとバンドルのデプロイ](#)」を参照してください。
4. メンテナンス用時間枠を作成します。詳細については、「[33ページのメンテナンス用時間枠の管理](#)」を参照してください。

要件

Deployをインストールして使用する前に、要件を確認してください。

Taniumの依存関係

Deploy製品 モジュールのライセンスに加えて、ご使用の環境が以下の要件を満たしていることを確認してください。

コンポーネント	要件
プラットフォーム	7.0.314.6319以降。 拡張機能は、バージョン7.0.314.6573以降で使用できます。Tanium™ Interactのインストールも推奨されます。 役割ベースのアクセス制御(RBAC)には、7.1.314.3214以降のTaniumプラットフォームが必要です。 7.2.314.3019以降。
Tanium Client	6.0.314.1540以降 (Windows 7 Service Pack 1以降、およびWindows Server 2008以降) 7.2.314.2962以降 (Windows 7 Service Pack 1以降、およびWindows Server 2008以降)
Tanium End-User Notifications	1.3.0.0001以降

Tanium ServerとModule Server

Deployがインストールされ、Module Serverのホストコンピュータ上のサービスとして実行されます。Module Serverへの影響は最小限であり、使用状況によって異なります。

Tanium Serverとモジュールサーバのサイジングガイドラインの詳細については、「[Tanium Core Platformインストールガイド: ホストシステムサイジングガイドライン](#)」を参照してください。

エンドポイント

ご利用の環境へのカスタマイズチューニングについては、テクニカルアカウントマネージャ(TAM)にお問い合わせください。詳細については、「[Tanium Platformユーザーガイド: グローバル設定の管理](#)」を参照してください。

システム環境変数

Deployのファイルパスを参照するときは、明示的なファイルパスより、環境変数の使用をお勧めします。この方法は、オペレーティングシステムの言語またはアーキテクチャに基づいて異なるパスから独立しており、実行時に動的なパスを構築することができます。

プロセスアーキテクチャ	システム環境変数	パス
32ビットWindowsの32ビットプロセス	%PROGRAMFILES%	C:\Program Files
	%COMMONPROGRAMFILES%	C:\Program Files\Common Files
64ビットWindowsの32ビットプロセス	%PROGRAMFILES%	C:\Program Files (x86)
	%PROGRAMFILESX86%	C:\Program Files (x86)
	%COMMONPROGRAMFILES%	C:\Program Files (x86)\Common Files
	%COMMONPROGRAMFILES (X86) %	C:\Program Files (x86)\Common Files
	%COMMONPROGRAMW6432%	C:\Program Files\Common Files
	%PROGRAMW6432%	C:\Program Files

注意: %SystemDrive%、%SystemRoot%、%WinDir%など、Systemアカウントで使用できる追加の環境変数もサポートされています。

ホストとネットワークセキュリティの要件

Deployを実行するには、特定のプロセスとURLが必要です。

セキュリティの除外

未知のホストシステムプロセスを監視およびブロックするためにセキュリティソフトウェアが環境内で使用されている場合、セキュリティ管理者はTaniumプロセスを干渉なく実行できるように除外を作成する必要があります。

ターゲットデバイス	プロセス
Module Server	node.exe または "<Tanium Module Server>\services\deploy\node.exe" service.js
エンドポイントコンピュータ	<Tanium>\Tanium End User Notification Tools\bin\client-ui.exe <Tanium Client>\Python27\TPython.exe <Tanium Client>\Tools\Deploy\py\deploy\tools\active-user-sessions.exe オンアクセスまたはリアルタイムスキャンから次のディレクトリを除外します: <ul style="list-style-type: none"> • <Tanium>\Tanium End User Notification Tools • <Tanium Client>

ユーザーロールの要件

Tanium 7.0

Deployでは、次のユーザーロールがサポートされています。

管理者

Deployをインストールできます。パッケージとバンドルを作成、変更、または削除できます。デプロイを作成、変更、削除、または実行できます

コンテンツ管理者

パッケージやバンドルを作成、変更、削除することができます。デプロイを作成、変更、削除、または実行できます

Tanium 7.1以降

Tanium Platformバージョン7.1.314.3214以降では、Deployは、Deployワークベンチへのアクセスを制御するRBACアクセス許可を使用します。事前定義された3つのロールは、Deploy管理者、Deployユーザー、Deploy読み取り専用ユーザーです。

表 1: Tanium 7.1.314.3214以降用のDeployユーザーロール特権

特権	Deploy 管理者	Deploy ユーザー	Deploy読み取り専 用ユーザー
Deployを表示 Deployワークベンチの表示	1	1	1
Deploy Use API (Deploy使用API) APIを使用してDeployの操作を 実行する	1	1	1
Deploy モジュールの読み取り Deployモジュールの読み取りアクセス			
Deploy モジュールへの書き込み Deployモジュールへの書き込み アクセス			
Deploy設定の書き込み Deployモジュールのグローバル 設定への書き込みアクセス			
¹ 提供された許可を示します。			

**表2: Tanium 7.1.314.3214以降用の提供されたDeploy Micro AdminとAsset
拡張ユーザーロールアクセス許可**

アクセス許可	ロールタイプ	アクセス許可用コンテンツセット	Deploy管理者	Deployユーザー	Deploy読み取り専用ユーザー
ユーザーグループの読み取り	Micro Admin				
コンピュータグループの読み取り	Micro Admin				
動的な質問をする	高度				
センサーの読み取り	高度	予約			
センサーの読み取り	高度	デフォルト			
センサーの読み取り	高度	ベース			
センサーの読み取り	高度	コンテンツセットをデプロイする			
アクションの読み取り	高度	コンテンツセットをデプロイする			
アクションの書き込み	高度	コンテンツセットをデプロイする			
アクションの承認	高度	コンテンツセットをデプロイする			
アクションを実行する	高度	コンテンツセットをデプロイする			
パッケージの読み取り	高度	コンテンツセットをデプロイする			
パッケージの書き込み	高度	コンテンツセットをデプロイする			
登録質問の書き込み	高度	コンテンツセットをデプロイする			

コンテンツセットとアクセス許可の詳細および説明については、「[Tanium Core Platform ユーザーガイド: ユーザーとユーザーグループ](#)」を参照してください。

Deployのインストール

Deployは[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]ページからインストールできます。

始める前に

- 「[リリースノート](#)」をお読みください。
- [10ページの要件](#)を確認してください。
- 以前のバージョンからアップグレードする場合は、「[19ページのDeployをアップグレードする](#)」を参照してください。

Deployのインポート

[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]ページからDeployをインポートします。

注意: Active/ActiveのTanium Server構成で設定された環境では、このプロセスは両方のTanium Serverで実行する必要があります。

1. メインメニューから、[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]をクリックします。
2. [Tanium Deploy]で、[Import (インポート)]をクリックします。

注意: Tanium Deployはライセンスされたソリューションです。Tanium Deployが[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]ページからのインポートできない場合、テクニカルアカウントマネージャに連絡してください。

3. [Content Import Preview (コンテンツインポートのプレビュー)] ウィンドウでパッケージを展開して、インストールされるTaniumコンテンツを確認することができます。[Proceed with Import (インポートを続行する)]をクリックします。
4. インストールプロセスが完了したら、[Close (閉じる)]をクリックします。
5. インストールを確認するには、[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]ページに戻り、インストール済み: X.X.X.XXバージョンのDeployを確認します。

ヒント: コンソールにDeployモジュールが表示されない場合は、ブラウザをリフレッシュしてください。

サービスアカウントを設定する

定期メンテナンスを行う場合は、管理者権限またはコンテンツ管理者権限を持つTaniumユーザーを指定します。これらの資格情報の指定は、1回限りの構成です。他の資格情報を追加する必要はありません。

1. Deployホームページから、**[Configure Deploy (Deploy構成)]** セクションで、**[Configure Service Account (サービスアカウントの設定)]** ステップをクリックし、**[Configure Service Account (サービスアカウントの設定)]** をクリックします。

注意: If the **Configure Deploy** section is not visible in the Deploy home page, click **Manage Home Page**, select **Configure Deploy**, and click **Save**.

2. Taniumの資格情報を入力し、**[Set Credentials (資格情報の設定)]** をクリックします。

Tanium End-User Notifications (エンドユーザー通知ソリューション)をインストールする

Taniumエンドユーザー通知ソリューションをインストールすることで、ユーザーに展開とともに通知する、「システムが間もなく展開を開始する」、「展開を完了した」といった通知メッセージを作成でき、また、延期が有効になるとユーザーにデプロイを延期するまたは再起動をすぐ実行するといったオプションを提供できます。

1. [Deploy (適用)]ホームページから、**[Configure Deploy (適用の構成)]** セクションで**[Import End-User Notifications (エンドユーザー通知のインポート)]** ステップをクリックし、**[Import End-User Notifications (エンドユーザー通知のインポート)]** をクリックします。

注意: If the **Configure Deploy** section is not visible in the Deploy home page, click **Manage Home Page**, select **Configure Deploy**, and click **Save**.

2. パッケージとセンサーのリストを確認し、**[Proceed with Import (インポートを続行する)]** をクリックします。
3. エンドユーザー通知 ツールをエンドポイントに配布するには、[18ページのDeployのアクショングループにコンピュータグループを追加する](#)し、[18ページのエンドポイントを初期化する](#)。
4. ご利用のエンドポイントにエンドユーザー通知 ツールがあるかどうかを確認するには、次の質問をします。 **Is Windows = "true"のすべてのマシンからHas End User Notification Tools (エンドユーザー通知 ツールがある)のマシンを入手** します。

コンピュータグループを整理する

パッケージまたはバンドルをデプロイする方法の1つは、コンピュータグループによるものです。関連するコンピュータグループを作成して、エンドポイントを整理します。次のオプションがあります：

- エンドポイントタイプ(サーバや従業員のワークステーションなど)
- エンドポイントの場所(国やタイムゾーンなど)
- エンドポイントの優先順位(ビジネスクリティカルなマシンなど)

詳細については、「[Tanium Core Platformユーザーガイド: コンピュータグループの管理](#)」を参照してください。

Deployのアクショングループにコンピュータグループを追加する

Deployのモジュールをインポートすると、特定のエンドポイントを対象とするアクショングループが自動的に作成されます。Deployアクショングループに含めるコンピュータグループを選択します。デフォルトでは、Deployはどのコンピュータも対象にしていません。

1. Deployホームページから、**[Configure Deploy (Deployの構成)]** セクションで、**[Select Computer Groups (コンピュータグループの選択)]** ステップをクリックし、**[Configure Action Group (アクショングループの構成)]** をクリックします。

注意： If the **Configure Deploy** section is not visible in the Deploy home page, click **Manage Home Page**, select **Configure Deploy**, and click **Save**.

2. アクショングループに含めるコンピュータグループを選択します。複数のコンピュータグループを選択する場合は、オペランド(ANDまたはOR)を選択してグループを結合します。
3. (オプション)**[All machines currently included in this action group (このアクショングループに現在含まれているすべてのマシン)]** セクションで、含まれているエンドポイントを確認してください。

注意： これらの結果の取り込みには数分かかる場合があります。

4. **[Save (保存)]** をクリックします。

エンドポイントを初期化する

Deployは、対象にした各エンドポイントにツールセットをインストールします。エンドポイントを初期化すると、Deployサービスが開始され、Deployプロセスが実行されていないすべてのエンドポ

イントでプロセスが開始されます。

このアクションは1時間ごとに再発行されます。

1. Deployホームページから、**[Configure Deploy (Deployの構成)]** セクションで、**[Initialize Endpoints (エンドポイントの初期化)]** ステップをクリックし、**[Initialize Endpoints (エンドポイントの初期化)]** をクリックします。

注意: If the **Configure Deploy** section is not visible in the Deploy home page, click **Manage Home Page**, select **Configure Deploy**, and click **Save**.

2. パスワードを入力し、**[Confirm (確認)]** をクリックします。

注意: After deploying the tools for the first time, endpoints can take up to four hours to display status.

Deployをアップグレードする

DeployをTanium Consoleにインポートしてアップグレードすることができます。

注意: Active/ActiveのTanium Server構成で設定された環境では、このプロセスは両方のTanium Serverで実行する必要があります。

1. メインメニューから**[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]** を選択します。
2. Deployを検索して**[Upgrade to<version>(バージョンにアップグレード)]** をクリックします。
インストールパッケージがダウンロードされると、進捗バーが表示されます。
3. **[Continue (続行)]** をクリックします。
[Import Solution (ソリューションのインポート)] ページが開き、すべての変更とインポートオプションのリストが表示されます。
4. **[Proceed with Import (インポートを続行する)]** をクリックします。
5. パスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。
6. アップグレードが完了したら、**[Close (閉じる)]** をクリックします。
7. アップグレードを確認するには、**[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]** ページに戻り、Deployの**[Installed (インストール済み)]** バージョンをチェックします。

ヒント: **Deploy**のバージョンがコンソールで更新されていない場合は、ブラウザをリフレッシュしてください。

次にやるべきこと

Deployの使用について詳しくは、「[9ページのはじめに](#)」を参照してください。

パッケージとバンドルの管理

ソフトウェアパッケージを使用して、対象コンピュータのソフトウェアをインストール、更新、または削除します。ソフトウェアバンドルを使用して、パッチ適用するソフトウェアパッケージのシーケンスリストを指定します。

始める前に

適用範囲チェックおよびコマンドラインによる操作の場合、すべてのエンドポイントに必要なシステム環境変数が定義されていることを確認してください。詳細については、「[11ページのシステム環境変数](#)」を参照してください。

ソフトウェアパッケージを作成する

1. Deployメニューから、**[Software (ソフトウェア)]**をクリックし、それから**[New Software Package (新しいソフトウェアパッケージ)]**をクリックします。
2. パッケージオプションを指定します。
 - a. **[Add (追加)]**をクリックして、ローカルファイル、リモートファイル、またはリモートフォルダを追加します。

これらは、管理されたデバイスにアプリケーションをサイレントインストールするために必要なファイルです。たとえば、msiまたはexeインストーラ、リソースファイルまたはフォルダ、構成ファイル、カスタムスクリプト、カスタムレジストリファイル、ライセンスキーなどです。

重要: リモートファイルまたはリモートフォルダを選択する場合は、Tanium Deployサービスを実行しているアカウントがリモートロケーションにアクセスできることを確認してください。デフォルトでは、Tanium Deployサービスはローカルシステムコンテキストで実行されます。

- b. 一般的な情報を入力し、OSプラットフォームを選択してください。

ヒント: パッケージファイルに1つ以上のWindowsインストーラパッケージ(MSIファイル形式)が含まれている場合は、**[Inspect(検査)]**をクリックして.msiファイルから一般情報を抽出し、事前入力された情報を確認します。**[Inspect (検査)]**をクリックしても、以前に手動で入力した情報は上書きされません。

- c. Deploy操作を選択します。

- d. パッケージがエンドポイントで実行されるための最小システム要件を指定します。
 - e. 前提条件ソフトウェアの検出ルールを追加します。
 - f. (オプション)更新の操作が選択されている場合は、以前のバージョンの検出ルールのリストを追加します。
 - g. このパッケージで有効にしたDeploy操作の条件付きコマンドを追加します。
 - h. インストール検証の検出ルールのリストを追加します。
3. **[Create Package (パッケージの作成)]**をクリックします。
 4. パスワードを入力し、**[Confirm (確認)]**をクリックします。

ソフトウェアパッケージをエクスポートする

ソフトウェアパッケージをエクスポートして、後で別のサーバにパッケージをインポートしたり、削除したパッケージを再作成したりすることができます。

1. Deployメニューから、**[Software (ソフトウェア)]**をクリックします。
2. パッケージの名前をクリックし、**[Export (エクスポート)]**をクリックします。

ZIPファイルはダウンロードフォルダにあります。

ソフトウェアパッケージをインポートする


以前にエクスポートしたソフトウェアパッケージを別のサーバにインポートするか、削除したパッケージを再作成することができます。

1. Deployメニューから、**[Software (ソフトウェア)]**をクリックし、それから**[Import Package (パッケージのインポート)]**をクリックします。
2. 以前にエクスポートしたZIPファイルを参照し、**[Import (インポート)]**をクリックします。
3. **[Upload File (ファイルをアップロードする)]**をクリックして必要なファイルをアップロードします。
4. **[Import (インポート)]**をクリック、または重複したパッケージをインポートする場合は**[Import Duplicate (重複のインポート)]**をクリックします。
5. パスワードを入力し、**[Confirm (確認)]**をクリックします。

ソフトウェアパッケージカタログを配布する

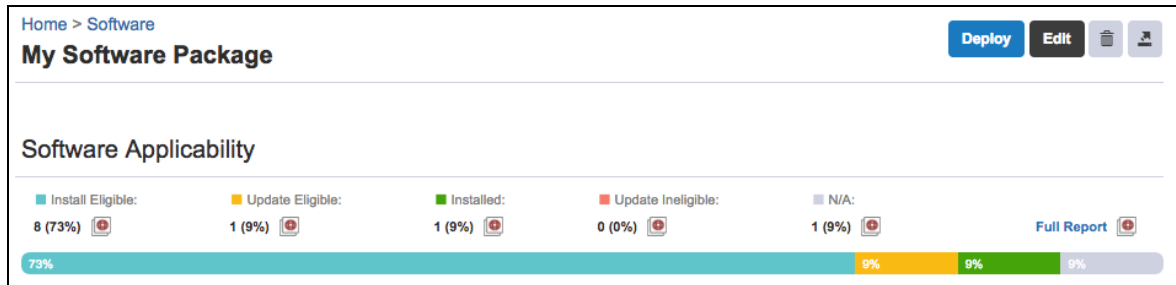
ソフトウェアパッケージを作成または編集した後、ソフトウェアパッケージカタログをエンドポイントに配布するように求められます。**[Distribute Catalog (カタログを配布する)]**をクリックして、パスワードを入力し、**[Confirm (確認)]**をクリックします。エンドポイントが更新されたソフトウェア

パッケージカタログを受け取ると、パッケージの適用範囲を表示できます。

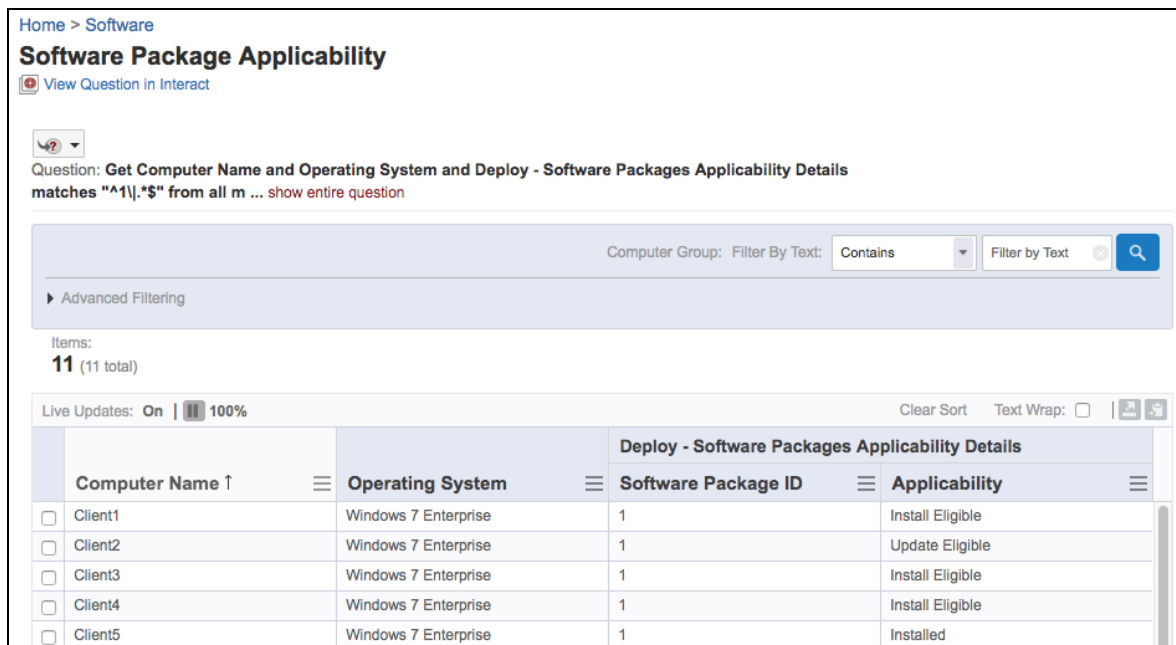
 New/Updated software packages are pending: **Distribute the software package catalog.** [Distribute Catalog](#)

ソフトウェアパッケージの適用範囲を表示する

1. Deployメニューから、**[Software (ソフトウェア)]**をクリックします。
また、パッケージ名をさらにクリックして、ソフトウェアパッケージの適用範囲を表示することもできます。



2. 特定の適用範囲状態の詳細については、**[Interact (インタラクト)]** をクリックしてください。
3. **[Full Report (フルレポート)]** をクリックしてエンドポイントの適用範囲の詳細を表示することもできます。



Home > Software

Software Package Applicability

[View Question in Interact](#)

Question: **Get Computer Name and Operating System and Deploy - Software Packages Applicability Details**
matches "***1\|.*\$**" from all m ... [show entire question](#)

Computer Group: Filter By Text: Contains Filter by Text

Advanced Filtering

Items: **11** (11 total)

Live Updates: On | 100%

Deploy - Software Packages Applicability Details				
Computer Name ↑	Operating System	Software Package ID	Applicability	
<input type="checkbox"/> Client1	Windows 7 Enterprise	1	Install Eligible	
<input type="checkbox"/> Client2	Windows 7 Enterprise	1	Update Eligible	
<input type="checkbox"/> Client3	Windows 7 Enterprise	1	Install Eligible	
<input type="checkbox"/> Client4	Windows 7 Enterprise	1	Install Eligible	
<input type="checkbox"/> Client5	Windows 7 Enterprise	1	Installed	

ソフトウェアバンドルを作成する

1. [Deploy (デプロイ)] メニューから、**[Software (ソフトウェア)]** をクリックし、それから**[Software Bundles (ソフトウェアバンドル)]** をクリックします。
2. **[New Software Bundle (新しいソフトウェアバンドル)]** をクリックします。
3. パッケージオプションを指定します。
 - a. **[Software Bundle Details (ソフトウェアバンドルの詳細)]** セクションで、バンドル名と説明を指定し、OSのプラットフォームを選択します。
 - b. **[Add Software (ソフトウェアの追加)]** セクションで、バンドルに追加するソフトウェアパッケージ、パッチ適用アクション、パッケージが失敗した場合にバンドルを続行するか終了するかを選択します。

注意: パッケージをドラッグするか、パッケージ番号の横にある矢印をクリックして、パッケージの順序を変更できます。

4. **[Create Bundle (バンドルの作成)]** をクリックします。

ソフトウェアパッケージまたはバンドルを編集する

パッケージまたはバンドルを編集するには、パッケージまたはバンドルの名前をクリックし、**[Edit (編集)]** をクリックします。

ソフトウェアパッケージまたはバンドルを編集して保存すると、そのパッケージまたはバンドルのバージョン番号が大きくなります。既存のパッチ適用のすべては、更新されたソフトウェアパッケージカタログが配布されるまで、パッチ適用時に指定されたバージョンを引き続き使用します。

ソフトウェアパッケージまたはバンドルを削除する

パッケージまたはバンドルを削除するには、パッケージまたはバンドルの名前をクリックし、**[Delete (削除)]** をクリックします。

注意: ソフトウェアパッケージまたはバンドルがアクティブなデプロイで参照されていない場合にのみ削除できます。

パッケージとバンドルのデプロイ

概要

パッチ適用を実行して、ターゲットコンピュータのセットにソフトウェアをインストール、更新、またはアンインストールします。パッチ適用は、以下の要件を満たすために1回、または継続して実行することができます。

- 運用上の衛生管理とシステムベースラインを維持します。
- 短期間 オンラインであるシステムを管理します。
- システム状態の変化に応じて適用可能になるパッケージを再実行します。

重要: パッチ適用 オプションで**[Override maintenance window (メンテナンス用時間枠の上書き)]**が選択されていない限り、パッチ適用はメンテナンス用時間枠外では実行されません。他の適用を実行するために少なくとも1つのメンテナンス用時間枠を作成する必要があります。メンテナンス用時間枠作成の詳細については、[「33ページのメンテナンス用時間枠の管理」](#)を参照してください。

始める前に

- ソフトウェアパッケージまたはバンドルを作成します。[「21ページのパッケージとバンドルの管理」](#)を参照してください。
- デプロイの開始またはデプロイ後の再起動について、エンドポイントのエンドユーザーに通知する場合は、Tanium End-User Notificationソリューションをインストールします。[「17ページのTanium End-User Notifications \(エンドユーザー通知ソリューション\)をインストールする」](#)と[「27ページの エンドポイントの再起動」](#)を参照してください。

ソフトウェアパッケージのデプロイを作成する

ソフトウェアパッケージをデプロイするには、パッケージ名をクリックしてから、**[Deploy (デプロイ)]**をクリックします。

1. パッチ適用の詳細を指定します。
2. ソフトウェアパッケージの操作を選択します。
3. パッチ適用の対象を少なくとも1つ選択します。

4. パッチ適用 オプションを選択します。
 - a. このパッチ適用 テンプレートをベースにパッチ適用 を行うかどうかを選択します。このテンプレートに基づいて新しいパッチ適用 テンプレートを作成するには、**[Create Deployment Template (パッチ適用 テンプレートの作成)]**を選択します。詳細については、「[32ページのパッチ適用 テンプレートを作成する](#)」を参照してください。
 - b. パッチ適用時間 を指定します。
ブラウザ時刻 または エンドポイントの現地時間 を選択できます。
 - c. パッチ適用 タイプを指定します。個々の開始時刻と終了時刻を使用して1回だけパッチを適用する単独型、終了時刻を指定しないでパッチを適用する継続型のいずれかを実施できます。
 - d. エンドポイントでインストール前にパッチ適用 コンテンツをダウンロードするには、**[Download immediately (すぐにダウンロード)]**を選択します。
 - e. You can enable end user notifications about the deployments. Select **Notify User** in the **Pre-Notify User** section. You can then configure settings that allow the user to postpone the start of the deployment. You also must configure the **Message Content** that informs the user about the deployment. To preview the window that displays the message and postponement options, click **Show Preview**.

The screenshot shows a configuration interface for user notifications. On the left, there are two tabs: 'Pre-Notify User' and 'Notify User'. The 'Notify User' tab is selected and contains several settings:

- Allow User to Postpone (with a help icon)
- Duration of Postponement: 1 Days
- User Postponement Options: 1 Hours, 2 Hours, 4 Hours
- Countdown to deadline: 10 Minutes

Below these settings is the 'Message Content' section, which includes:

- Title: Deployment Starting
- Title Icon: Choose File (Suggested size: 32x32px)
- Body: IT is going to start a deployment to install software.
- Body Image: Choose File (Suggested size: 120x120px)

A 'Show Preview' button is located in the top right corner of the Message Content section.

- f. CPUの並行使用とディスクの入出力を最小化するために、**[Distribute over time (長期配布)]**を選択して時間を指定します。
- g. パッチ適用の制限を無視する場合は、**[Override Maintenance Windows (メンテナンス用時間枠の上書き)]**を選択します。

- h. エンドポイントを再始動するかどうかを選択します。詳細については、「[27ページのエンドポイントの再起動](#)」を参照してください。
- i. You can enable end user notifications about the completion of a deployment with or without a restart. Select **Notify User** in the **Post-Notify User** section. If you enabled endpoint restarts, you can then configure settings that allow the user to postpone the restart. You also must configure the **Message Content** that informs the user about the restart. To preview the window that displays the message and postponement options, click **Show Preview**.

Restart: Yes, No

Post-Notify User: Notify User

Allow User to Postpone

Duration of Postponement: 1 Days

User Postponement Options: 1 Hours, 2 Hours, 4 Hours, 10 Minutes

Countdown to deadline: 10 Minutes

Message Content: Show Preview

Title: Reboot Required

Title Icon: Choose File, Suggested size: 32x32px

Body: IT needs to reboot your system to deploy software.

Body Image: Choose File, Suggested size: 120x120px

5. **[Create Deployment (デプロイの作成)]** をクリックします。

エンドポイントの再起動

更新プログラムがインストールされた後、Deployがシステムを再起動することがあります。次のような再起動に対するオプションを選択できます。

- 適用後に、サイレントモードで直ちに再起動します。このオプションは、通常、メンテナンス時間枠および変更管理プロセスと合わせて、サーバおよび本稼動マシンに使用されます。
- システムユーザーに保留中の再起動について通知し、指定された時間の間、再起動を延期するオプションをシステムユーザーに与える。次のオプションを設定します。

延期の期間

エンドポイントを再始動するまでの時間を分数、時間数、または日数で指定します。期限は、各エンドポイントで適用が完了した時間に、この値を加算することで算出されます。

期限までのカウントダウン

エンドポイントを再起動するどれだけ前に最終通知を表示するかを、分数、時間数、または日数で指定します。

ユーザーに延期を許可する

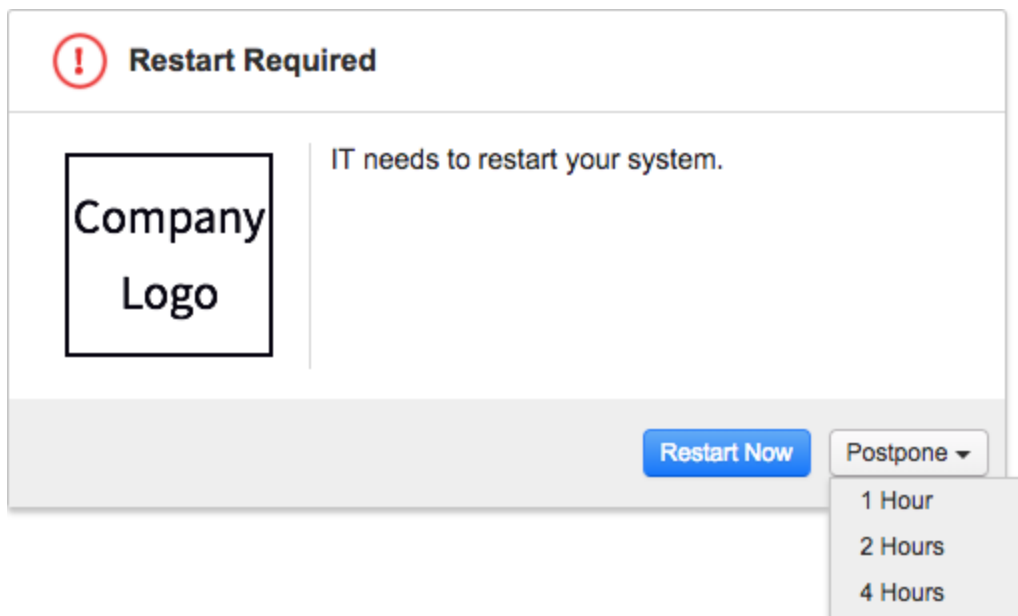
指定した時間だけ再起動を延期するオプションをユーザーに提示する場合は、このオプションを選択します。ユーザーはこの期限を過ぎて延期することはできません。

ユーザー延期オプション

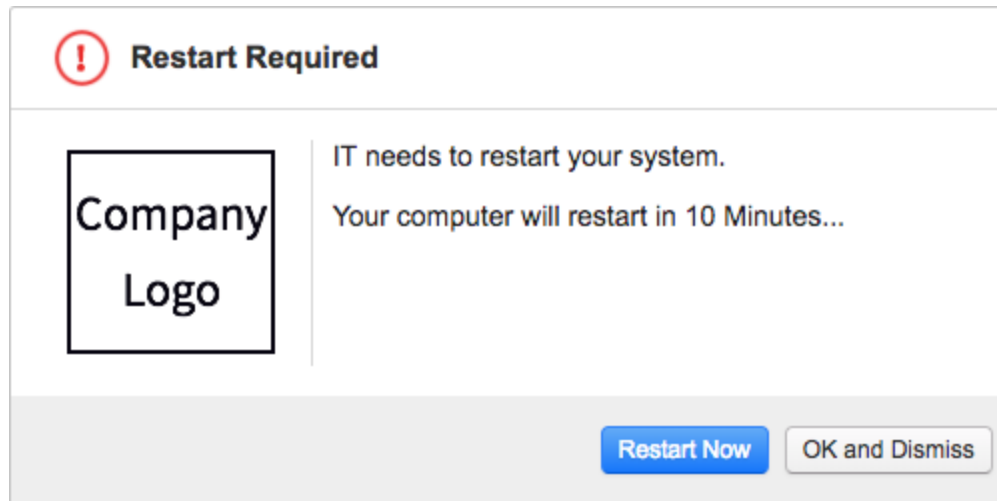
ユーザーが再起動を延期できる時間を分数、時間数、または日数で指定します。

メッセージの内容

通知メッセージのタイトルと本文を指定します。||OPERATION||、||PACKAGE||、または||DEPLOYMENTNAME||をタイトルや本文内の変数として使用できます。ソフトウェアバンドルを展開する場合、||PACKAGE||変数にバンドル名を使用します。ユーザーを混乱させたり、サポートコールを制限したりするのを避けるため、区別を示すオプションのアイコンと本文の画像をアップロードします。**[Show Preview (プレビューを表示)]**をクリックして、通知をプレビューします。このメッセージは設定可能で、次の例のようになります。



再起動の期限が過ぎると、ユーザーには延期できないというメッセージが表示されます。



ヒント: エンドユーザーの通知は、パッチの適用を停止、再設定、および再発行することによって、既存のパッチの適用に追加できます。

注意: ユーザーが誰もエンドポイントにログインしていない場合は、パッチの適用時に通知するように設定されていても、パッチの適用完了直後にエンドポイントが再始動されます。

ソフトウェアバンドル用のパッチ適用を作成する

ソフトウェアバンドルはプラットフォーム固有であり、各ソフトウェアパッケージは個別に評価およびインストールされますが、指定されたOSプラットフォームでのみ使用できます。バンドルのデプロイ中に個々のパッケージのインストールが失敗した場合、バンドルを続行して残りのパッケージをインストールするか、または停止して失敗を報告するかのいずれかを選べます。

ソフトウェアバンドルを適用するには、バンドル名をクリックしてから、**[Deploy (デプロイ)]**をクリックします。

1. パッチ適用の詳細を指定します。
2. ソフトウェアバンドルの詳細を確認します。
3. パッチ適用の対象を少なくとも1つ選択します。

4. パッチ適用 オプションを選択します。
 - a. このパッチ適用 テンプレートをベースにパッチ適用 を行うかどうかを選択します。このテンプレートに基づいて新しいパッチ適用 テンプレートを作成するには、**[Create Deployment Template (パッチ適用 テンプレートの作成)]**を選択します。詳細については、「[32ページのパッチ適用 テンプレートを作成する](#)」を参照してください。
 - b. パッチ適用時間 を指定します。
ブラウザ時刻 または エンドポイントの現地時間 を選択できます。
 - c. パッチ適用 タイプを指定します。個々の開始時刻と終了時刻を使用して1回だけパッチを適用する単独型、終了時刻を指定しないでパッチを適用する継続型のいずれかを実施できます。
 - d. エンドポイントでインストール前にパッチ適用 コンテンツをダウンロードするには、**[Download immediately (すぐにダウンロード)]**を選択します。
 - e. You can enable end user notifications about the deployments. Select **Notify User** in the **Pre-Notify User** section. You can then configure settings that allow the user to postpone the start of the deployment. You also must configure the **Message Content** that informs the user about the deployment. To preview the window that displays the message and postponement options, click **Show Preview**.

The screenshot shows a configuration interface for user notifications. On the left, there are two tabs: 'Pre-Notify User' and 'Notify User'. The 'Notify User' tab is selected and contains a checked checkbox 'Allow User to Postpone'. Below this, there are four rows of controls for postponement: 'Duration of Postponement' (1 Days), 'User Postponement Options' (1 Hours), '2 Hours', '4 Hours', and 'Countdown to deadline' (10 Minutes). The 'Message Content' section is below, with a 'Show Preview' link. It includes fields for 'Title' (Deployment Starting), 'Title Icon' (Choose File, Suggested size: 32x32px), 'Body' (IT is going to start a deployment to install software.), and 'Body Image' (Choose File, Suggested size: 120x120px).

- f. CPUの並行使用とディスクの入出力を最小化するために、**[Distribute over time (長期配布)]**を選択して時間を指定します。
- g. パッチ適用の制限を無視する場合は、**[Override Maintenance Windows (メンテナンス用時間枠の上書き)]**を選択します。

- h. エンドポイントを再始動するかどうかを選択します。詳細については、「[27ページのエンドポイントの再起動](#)」を参照してください。
- i. You can enable end user notifications about the completion of a deployment with or without a restart. Select **Notify User** in the **Post-Notify User** section. If you enabled endpoint restarts, you can then configure settings that allow the user to postpone the restart. You also must configure the **Message Content** that informs the user about the restart. To preview the window that displays the message and postponement options, click **Show Preview**.

Restart

Yes
 No

Post-Notify User

Notify User

Allow User to Postpone ?

Duration of Postponement: 1 Days

User Postponement Options: 1 Hours ?
2 Hours
4 Hours

Countdown to deadline: 10 Minutes

Message Content Show Preview

Title: Reboot Required

Title Icon: Choose File Suggested size: 32x32px ?
Filename: --

Body: IT needs to reboot your system to deploy software.

Body Image: Choose File Suggested size: 120x120px ?
Filename: --

5. **[Create Deployment (デプロイの作成)]** をクリックします。

パッチの適用を再発行する

停止したパッチ適用を再開したり、1回限りのパッチ適用を再発行したりすることもできます。パッチ適用を再発行すると、同じ構成と対象を持つ新しいパッチの適用が作成されます。

1. Deployメニューから、**[Deployments (パッチ適用)]** をクリックします。
2. **[Inactive (非アクティブ)]** タブで、パッチ適用名をクリックします。
3. **[Reissue (再発行)]** をクリックします。
4. 必要に応じて変更してください。
5. 変更をプレビューします。
6. **[Create Deployment (デプロイの作成)]** をクリックします。

パッチの適用を停止する

パッケージまたはバンドルのデプロイを停止できますが、すでにインストールが完了しているパッケージは削除されません。

1. Deployメニューで、**[Deployments (デプロイ)]**をクリックします。
2. **[Active (アクティブ)]**タブで、デプロイ名をクリックします。
3. **[Stop (停止)]**をクリックします。
4. **[Inactive (非アクティブ)]**タブをクリックし、パッチの適用名をクリックしてステータスを確認します。

パッチ適用テンプレートを作成する

パッチ適用テンプレートを作成でき、これに繰り返し発行するパッチ適用の設定を保存できます。パッチ適用テンプレートを作成するには、**[Deployment Templates (パッチの適用テンプレート)]**のメニュー項目からパッチ適用テンプレートを1つ選択するか、パッチの適用を作成するときにテンプレートとして保存するオプションを選択します。

1. [Deploy]メニューで**[Deployment Templates (パッチ適用テンプレート)]**をクリックします。
2. **[Create Deployment Template (パッチ適用テンプレートの作成)]**をクリックします。
3. パッチ適用テンプレートの名前を指定します。
4. パッチ適用オプションを選択します。これらのオプションは、個々のパッチの適用で設定できるオプションと同じです。
5. **[Create Deployment Template (パッチ適用テンプレートの作成)]**をクリックします。
6. このテンプレートは、パッチ適用を作成するときに使用できます。

メンテナンス用時間枠の管理

メンテナンス時間枠は、コンピュータグループ上でパッチの適用が実行されるタイミングを制御します。メンテナンス時間枠は、パッチの適用の開始と終了時刻から独立しています。適用を実行するには、設定された適用時間中メンテナンス時間枠が開いているか、適用に **[Override maintenance windows (メンテナンス時間枠を上書きする)]** オプションが設定されている必要があります。

適用オプションで **[Override maintenance windows (メンテナンス時間枠を上書きする)]** が選択されていない限り、適用はメンテナンス時間枠外では実行されません。他の適用を実行するために少なくとも1つのメンテナンス時間枠を作成する必要があります。

メンテナンス時間枠のオプション

使用環境に最も適した時間帯にメンテナンス時間枠を構成できます。コンピュータグループに対して強制的にメンテナンス時間枠を適用します。複数のメンテナンス時間枠は複数回の適用操作を許可するよう指定して、コンピュータグループに作用させることができます。

希望する時間枠	日付と時刻の後に選択するもの
ワンタイム時間枠	[Does Not Repeat (繰り返し無し)]
数日おきに繰り返される時間枠	[Daily (毎日)] と時間枠が開く日間隔
毎週同じ曜日に繰り返される時間枠	[Weekly (毎週)] 、時間枠間の週数、および時間枠が開く曜日
毎月同じ日に繰り返される時間枠	[Monthly (毎月)] 、時間枠が開く月間隔、および [Day of the Month (日)]
毎月同じ日に繰り返される時間枠	[Monthly (毎月)] 、時間枠が開く月間隔、および [Day of the Week (曜日)]
毎年同じ日に繰り返される時間枠	[Yearly (毎年)] と時間枠が開く年数の間隔

重要：メンテナンス時間枠を繰り返さず、コンピュータグループに対して1度だけ実行する場合、時間枠が閉じた後に適用も実行できません。

メンテナンス時間枠を作成する

エンドポイントに適用が実行されている場合、複数のメンテナンス時間枠を開きカスタマイズすることができます。たとえば、ネットワークの使用が少ない時間帯や就業時間外に適用する時間枠を作成することができます。

1. Deploy[Menu (メニュー)]から[**Maintenance Windows (メンテナンス時間枠)**]をクリックします。
2. [**Create Window (時間枠の作成)**]をクリックします。
3. 時間枠に名前を付けます。
4. ブラウザの時間またはエンドポイントの現地時間から選択します。
5. 時間枠の繰り返しを構成します。
 - a. 繰り返すタイムフレームを選択します。
 - b. 週や曜日、繰り返しの頻度などの追加オプションを設定します。
6. 日付と時刻のピッカーを使用して、時間枠の開始時刻と終了時刻を設定します。

注意: メンテナンス時間枠が繰り返される場合、終了日はありません。メンテナンス時間枠を停止するには、対象のコンピュータグループに対する強制を削除する必要があります。

7. [**Create (作成)**]をクリックします。
8. 1つまたは複数のターゲットコンピュータグループを追加します。

メンテナンス用時間枠を上書きする

適用中に[**Override maintenance windows (メンテナンス時間枠の上書き)**]オプションを設定することでメンテナンス時間枠外に適用できます。詳細については、「[25ページのパッケージとバンドルのデプロイ](#)」を参照してください。

メンテナンス用時間枠を削除する

強制が削除された後、メンテナンス用時間枠を削除できます。

1. Deploy[Menu (メニュー)]から[**Maintenance Windows (メンテナンス時間枠)**]をクリックします。
2. 時間枠を選択します。
3. 時間枠がコンピュータグループに対して強制されている場合は、すべてのグループを削除します。

4. 右上の[Delete (削除)]をクリックします。
5. 削除を確定します。

Deployのトラブルシューティング

Deployが期待通りに機能しない場合は、トラブルシューティングや設定の変更が必要な場合があります。サポートが必要な場合は、テクニカルアカウントマネージャに連絡することもできます。

トラブルシューティングパッケージを収集する

ご自身でのレビューやサポート支援のため、トラブルシューティングに関連するDeployのログとファイルをコンパイルすることができます。

1. Deployのログを取得します。
 - a. Deployのホームページで、[Help (ヘルプ)] をクリックします。
 - b. **[Collect Troubleshooting Package (トラブルシューティングパッケージを収集する)]** をクリックします。

ログのzipファイルをダウンロードするのに数分かかることがあります。ファイルのタイムスタンプの形式は、Deploy-YYYY-MM-DDTHH-MM-SS.mmmZ です。

2. (オプション)エンドポイントで、Tanium\Tanium Client\Tools\Deployフォルダをコピーします。

エンドユーザー通知が表示されません

エンドユーザー通知がエンドポイントに表示されていない場合：

1. Taniumエンドユーザー通知ソリューションがインストールされていることを確認します。詳細については、「[17ページのTanium End-User Notifications \(エンドユーザー通知ソリューション\)をインストールする](#)」を参照してください。
2. エンドポイントにエンドユーザー通知 ツールがあるかどうかを確認するために次を実行します：`Get Has End User Notification Tools from all machines with Is Windows = "true"`
3. セキュリティソフトウェアの除外に、\Tanium\Tanium End User Notification Toolsディレクトリが含まれていることを確認します。詳細については、「[11ページのセキュリティの除外](#)」を参照してください。

ソフトウェアパッケージに対する適用範囲情報がありません

ソフトウェアパッケージの適用範囲は、ソフトウェアパッケージカタログに格納され、エンドポイントに配布されるパッケージ定義の適用ルールを使用して、エンドポイントで計算されます。

ソフトウェアパッケージの適用範囲情報が利用できない場合：

1. 次の方法で、ターゲットエンドポイントでDeployプロセスが実行されていることを確認します。
 - 次を実行します: `Get Deploy - Is Process Running from all machines`
 - エンドポイントのローカルのTanium\Tanium Client\python27\TPython.exeを確認する
2. \Tanium\Tanium Client\Tools\Deploy\software-package-catalog.jsonファイルが存在し、更新されていることを確認します。
3. \Tanium\Tanium Client\Tools\Deploy\settings.jsonファイルが存在し、更新されていることを確認します。
4. \Tanium\Tanium Client\Tools\Deploy\software-package-applicability.jsonファイルをレビューし、パッケージid、適用範囲、updatedAt値を確認します。パッケージidがない場合、新しいスキャンが行われていないか、ソフトウェアパッケージカタログの期限が切れている可能性があります。新しいソフトウェアパッケージカタログファイルを受信すると、数分以内にスキャンが実行されます。
5. 保存された質問を読み込みます: **Deploy - ソフトウェアパッケージ適用範囲0** 最初の200パッケージのパッケージIDと適用可能状態を表示します。この保存された質問は、Deployサービスによって定義されたスケジュールで実行されます。これらの設定を必要に応じて調整するには、Deployの設定を確認します。保存された質問を読み込むには:
 1. メインメニューから、**[Authoring (作成)]>[Saved Questions (保存された質問)]**の順にクリックします。
 2. **[Deploy - Software Packages Applicability 0 (Deploy - ソフトウェアパッケージ適用範囲0)]**行を選択し、**[Load (読み込み)]**をクリックします。

Deployのアンインストール

Deployをアンインストールする必要がある場合は、まずエンドポイントでDeployアーティファクトをクリーンアップしてから、サーバ上のDeployをアンインストールします。

1. エンドポイントからデプロイアーティファクトをクリーンアップします。
 - a. Interactを使用してエンドポイントを指定します。Deployのあるエンドポイントのリストを取得するには、次を実行します: `Get Deploy - Is Process Running from all machines`。
 - b. **[Deploy Action (アクションを実行する)]**をクリックします。**[Clean Deploy Tools Folder (Deployツールフォルダのクリア)]**パッケージを選択します。
 - c. **[Actions (アクション)]>[Actions History (アクション履歴)]**ページのアクションステータスを確認します。
2. DeployソリューションをTanium Module Serverから削除します。メインメニューから、**[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]**をクリックします。

- a. Deployセクションで、**[Uninstall (アンインストール)]**をクリックし、プロセスに従います。
- b. **[Proceed with Uninstall (アンインストールを続行する)]**をクリックします。
- c. アンインストーラは、アクションを無効にし、保存された質問を再発行します。
- d. **[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]**ページに戻り、**[Import (インポート)]**ボタンがDeployで使用可能であるか確認します。
Deployモジュールがコンソールで更新されていない場合は、ブラウザをリフレッシュしてください。